

# 子どもの遊び場確保と子育て支援

## はやしまプレーパークの会

### 活動の目的

「はやしまプレーパーク」の活動の目的は、次の2点である。

- 「命の根っこは遊びで育つ」をキャッチフレーズに、子どもの遊び場の確保と保護者の子育て支援を行う。
- 子どもに遊び場の楽しさを体験させ、自らの体力や危険を察知する力を育成する。

### 活動の内容及び経過

早島町は、面積は県内最小で、人口密度と14歳以下の年少割合は県内最高である。そのため、子どもの遊び場の確保と子育て支援が地域課題である。地域課題の解決を図るため、平成30年度から毎月1回、第3土曜日の午後1時30分から午後4時まで、早島町町民総合会館北側の「ぞうさん広場」でプレーリーダーである地域のボランティアや小・中学生のジュニア・リーダーが見守る中で、親子や子ども同士と一緒に遊べる「はやしまプレーパーク」を開講している。現在は、地域のプレーリーダーとジュニアリーダーが主体となり、組織的な活動を展開している。

### 活動の成果・効果

「はやしまプレーパーク」の活動の成果・効果は、次の3点である。

- 子どもが保護者やプレーリーダーと触れ合ったり、子ども同士で遊んだりする中で、親子の絆や家庭・地域の連携が深まっている。
- 保護者は、子どもの遊びを見守ったり、プレーリーダーに子育ての相談をしたり、保護者同士で育児や家庭教育の情報交換を行ったりするなど、子育て支援に役立っている。
- 「はやしまプレーパーク」は、プレーリーダー、ジュニアリーダーが毎回3人以上参加し、子どもと保護者も毎回約50人参加するなど、子どもの遊び場確保と子育て支援の場として定着した。

### 今後の課題と問題点

今回の助成で、「はやしまプレーパーク」のプレーリーダーにスタッフ用帽子とジャンパーを準備できた。また、遊具として「けん玉」と「こま」を購入することができ、プレーリーダーとジュニアリーダーの意識が高まるとともに、一人で遊べる遊具により「はやしまプレーパーク」の遊びの広がりができた。本年度は、コロナ禍の中で、4月、5月は「はやしまプレーパーク」を開催できなかったが、6月（20日）から3月（20日）までは毎月開催できた。今後の課題・問題点は、コロナ禍や雨天時等における「はやしまプレーパーク」の在り方である。



ボルダリングに挑む



スラックラインを楽しむ



玉入れて競う



輪投げに興じる

- 代表者：藤本高志 ●所在地：都窪郡早島町前湯
- TEL：086-482-1511
- E-MAIL：takashi\_fujimoto@town.hayashima.lg.jp
- 設立年：2019年 ●メンバー数：7名